

住みたい田舎ベストランキング

■人口5万人以上20万人未満のまち（3部門ランキング）

順位	若者世代・単身者が 住みたいまち	子育て世代が住みたいまち	シニア世代が住みたいまち
1	愛媛県西条市	愛媛県今治市	愛媛県今治市
2	愛媛県今治市	愛媛県西条市	愛媛県西条市
3	大分県日田市	大分市宇佐市	大分県宇佐市
4	長野県飯田市	長野県飯田市	長野県飯田市
5	兵庫県豊岡市	大分県日田市	大分県日田市
6	岐阜県中津川市	京都府舞鶴市	岡山県津山市
7	大分県宇佐市	山形県鶴岡市	鹿児島県薩摩川内市
8	鳥取県鳥取市	岡山県津山市	埼玉県秩父市
9	山形県鶴岡市	福島県南相馬市	岐阜県中津川市
10	岡山県津山市	岐阜県中津川市	鳥取県鳥取市
11	福島県南相馬市	栃木県足利市	京都府舞鶴市
12	京都府舞鶴市	鳥取県鳥取市	兵庫県豊岡市
13	岐阜県高山市	兵庫県豊岡市	宮崎県都城市
14	岩手県一関市	埼玉県秩父市	栃木県栃木市
15	埼玉県秩父市	山口県宇部市	山形県鶴岡市
16	山口県宇部市	岐阜県高山市	長野県茅野市
17	栃木県足利市	秋田県由利本荘市	山形県酒田市
18	長野県茅野市	岩手県一関市	福島県南相馬市
19	山形県酒田市	栃木県栃木市	山口県宇部市
20	山口県山口市	鹿児島県薩摩川内市	三重県伊賀市

※2021年10月末日時点での回答

※（田舎暮らしの本「2022年度版住みたい田舎ベストランキング2022年2月号より引用」）

※アンケートは、自治体が回答し、基本アンケート+各項目のアンケートを点数化してランキングを決定

※若者世代：30代までの単身者、単身者：40代・50代の単身者

以下は、抜粋したアンケートの項目です。

① 基本アンケート（112項目）

- ・2021年度4月1日から10月末日時点の移住者（自治体の外から移住支援制度を利用して移住した人、窓口調査で「移住目的」とした人）の数を点数化。
- ・土日や祝日にも移住相談を受け付ける窓口を常設している。
- ・移住希望者向けに情報誌を発行している。
- ・お試し暮らし施設、空家バンク制度がある。
- ・コンビニ、図書館、書店、きれいな海、伝統芸能や伝統文化がある。

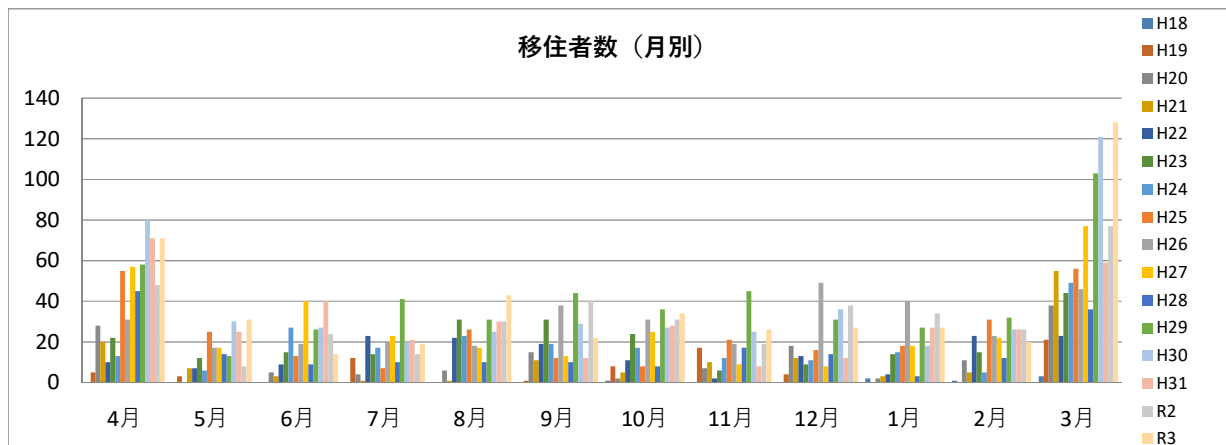
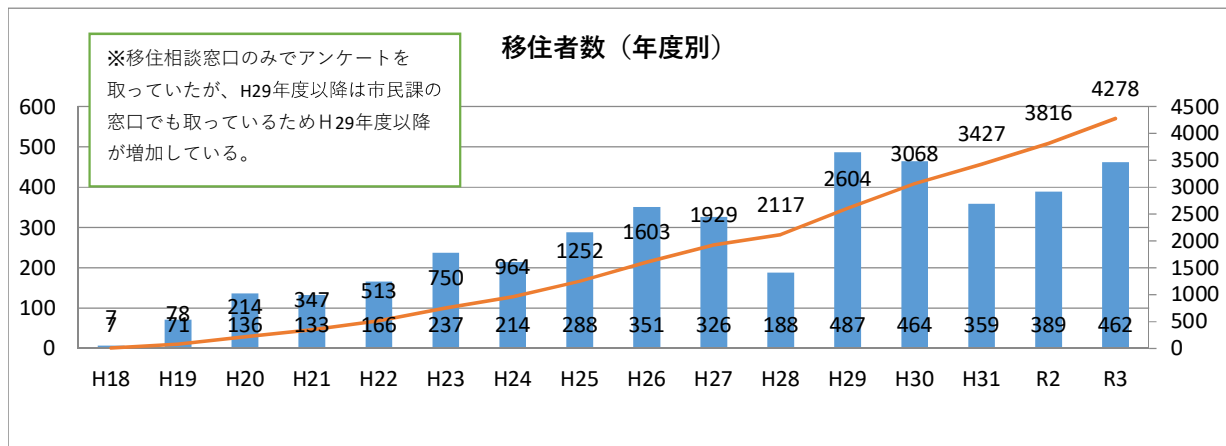
- ② 若者世代・単身者が住みたいまちアンケート（23項目+重複23項目）
- ・ 2021年度4月1日から10月末日時点の移住者のうち、50代までの単身者の移住者数を点数化
 - ・ ワークেশヨンの受け入れ体制を整えている。
 - ・ 企業のサテライトオフィスがある。
 - ・ 若者が中心となっていて行っている祭りや行事がある。
- ③ 若者世代・単身者が住みたいまちアンケート（重複23項目）
- ・ 農業インターンシップの受け入れ農業法人がある。
 - ・ 独自に集めた求人情報を提供して就職を支援している。
 - ・ 市町村独自の給付金を受けられる農林漁業の研修制度がある。
 - ・ 事業承継を支援する制度がある。
- ④ 子育て世代が住みたいまちアンケート（57項目+重複23項目）
- ・ 2021年度の移住者のうち、子育て中の家族（子どもを含む）、50代までの夫婦の移住者数を点数化。
 - ・ 産院、産科、助産院のいずれかがある。
 - ・ 不妊治療費の一部を助成する独自の制度がある。
 - ・ 産後ケア事業、施設、子ども食堂がある。
 - ・ 山村留学を受け入れている小中学校がある。
- ⑤ シニア世代が住みたいまちアンケート（38項目）
- ・ 2021年度の移住者のうち、60歳以上の移住者数を点数化。
 - ・ シルバー人材センター、各種医療機関がある。
 - ・ シニアが活発に交流できる公民館やコミュニティカフェがある。
 - ・ 住民が参加できる生活習慣予防の栄養指導や講習がある。
 - ・ 買い物弱者向けの移動販売がある。

移住者数(月別)

※鳥取市調べ

令和4年3月31日 現在

年度	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H18	世帯数						0	1	0	0	1	1	2	5
	人数						0	1	0	0	2	1	3	7
H19	世帯数	2	2	0	5	0	1	3	7	2	0	0	10	32
	人数	5	3	0	12	0	1	8	17	4	0	0	21	71
H20	世帯数	11	0	2	2	2	8	1	3	8	1	7	14	59
	人数	28	0	5	4	6	15	2	7	18	2	11	38	136
H21	世帯数	10	3	2	1	1	5	4	3	6	1	2	21	59
	人数	20	7	3	1	1	11	5	10	12	3	5	55	133
H22	世帯数	5	4	4	10	9	9	4	1	5	3	8	11	73
	人数	10	7	9	23	22	19	11	2	13	4	23	23	166
H23	世帯数	9	6	7	6	13	12	12	4	7	9	6	16	107
	人数	22	12	15	14	31	31	24	6	9	14	15	44	237
H24	世帯数	8	6	13	7	11	9	7	7	4	8	3	17	100
	人数	13	6	27	17	23	19	17	12	11	15	5	49	214
H25	世帯数	22	13	8	4	14	5	8	14	12	12	21	27	160
	人数	55	25	13	7	26	12	8	21	16	18	31	56	288
H26	世帯数	18	10	12	9	10	17	23	15	25	23	13	25	200
	人数	31	17	19	20	18	38	31	19	49	40	23	46	351
H27	世帯数	25	12	32	10	7	8	12	4	5	10	11	42	178
	人数	57	17	40	23	17	13	25	9	8	18	22	77	326
H28	世帯数	28	11	6	6	5	9	5	10	8	3	8	20	119
	人数	45	14	9	10	10	10	8	17	14	3	12	36	188
H29	世帯数	44	10	22	31	25	34	28	31	20	20	29	77	371
	人数	58	13	26	41	31	44	36	45	31	27	32	103	487
H30	世帯数	66	25	21	12	18	19	18	20	28	14	15	85	341
	人数	80	30	27	20	25	29	27	25	36	18	26	121	464
H31	世帯数	46	20	29	16	21	8	22	7	10	19	19	45	262
	人数	71	25	40	21	30	12	28	8	12	27	26	59	359
R2	世帯数	34	7	13	13	20	26	22	16	29	23	17	59	279
	人数	48	8	24	14	30	40	31	19	38	34	26	77	389
R3	世帯数	38	18	9	16	25	16	25	20	19	21	15	101	323
	人数	71	31	14	19	43	22	34	26	27	27	20	128	462
合計	世帯数	366	147	180	148	181	186	195	162	188	168	175	572	2,668
	人数	614	215	271	246	313	316	296	243	298	252	278	936	4,278

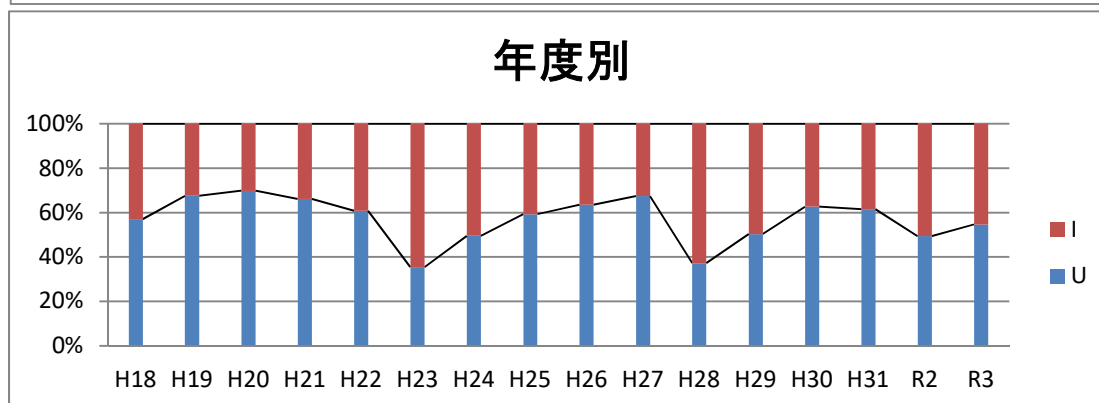
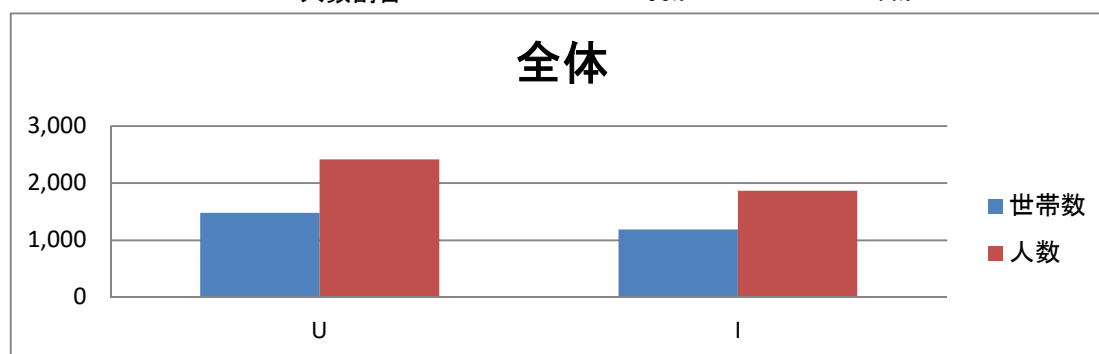


移住者数(UI別)

令和4年3月31日 現在

年度	区分	U	I	計
H18	世帯数	3	2	5
	人数	4	3	7
H19	世帯数	22	10	32
	人数	48	23	71
H20	世帯数	37	22	59
	人数	95	41	136
H21	世帯数	34	25	59
	人数	88	45	133
H22	世帯数	42	31	73
	人数	101	65	166
H23	世帯数	36	71	107
	人数	84	153	237
H24	世帯数	46	54	100
	人数	106	108	214
H25	世帯数	100	60	160
	人数	171	117	288
H26	世帯数	131	69	200
	人数	223	128	351
H27	世帯数	120	58	178
	人数	220	106	326
H28	世帯数	48	71	119
	人数	70	118	188
H29	世帯数	183	188	371
	人数	245	242	487
H30	世帯数	215	126	341
	人数	291	173	464
H31	世帯数	158	104	262
	人数	221	138	359
R2	世帯数	142	137	279
	人数	192	197	389
R3	世帯数	160	163	323
	人数	253	209	462
合計	世帯数	1,477	1,191	2,668
	人数	2,412	1,866	4,278

人数割合 56% 44%

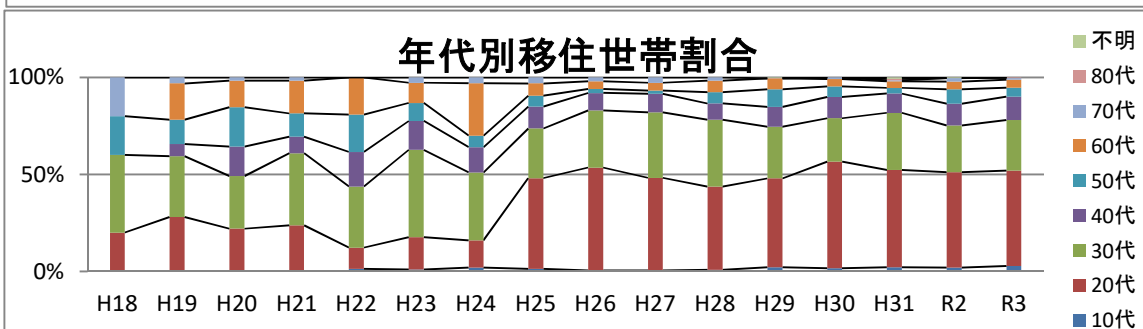
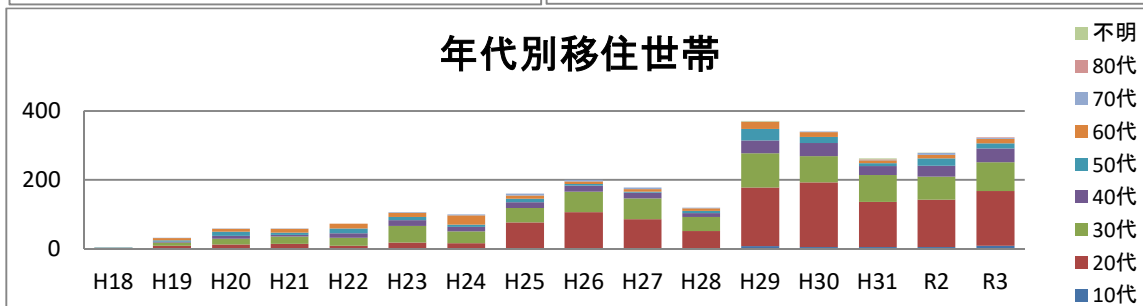
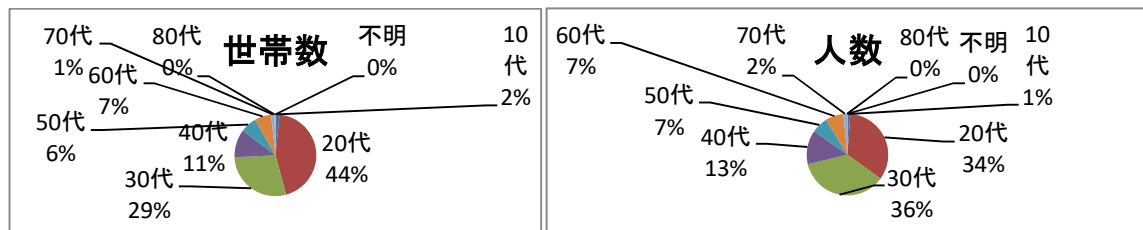


移住者数(年代別)

令和4年3月31日 現在

年度	区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不明	計
H18	世帯数		1	2		1		1			5
	人数		1	3		1		2			7
H19	世帯数		9	10	2	4	6	1			32
	人数		25	18	5	9	11	3			71
H20	世帯数		13	16	9	12	8	1			59
	人数		27	39	27	24	17	2			136
H21	世帯数		14	22	5	7	10	1			59
	人数		26	56	18	11	21	1			133
H22	世帯数	1	8	23	13	14	14				73
	人数	1	16	50	34	34	31				166
H23	世帯数	1	18	48	16	10	11	3			107
	人数	1	39	121	36	16	20	4			237
H24	世帯数	2	14	35	13	6	27	3			100
	人数	2	21	97	19	15	57	3			214
H25	世帯数	2	75	41	18	9	10	5			160
	人数	5	96	105	36	19	21	6			288
H26	世帯数	1	106	59	18	4	8	4			200
	人数	1	141	131	49	7	14	8			351
H27	世帯数	1	85	60	17	3	7	5			178
	人数	1	103	151	42	3	14	12			326
H28	世帯数	1	51	41	10	7	7	2			119
	人数	1	64	69	28	13	10	3			188
H29	世帯数	8	170	99	38	33	21	0	1	1	371
	人数	8	197	152	53	47	28	0	1	1	487
H30	世帯数	6	187	76	38	18	13	3	0	0	341
	人数	7	215	132	64	24	17	5	0	0	464
H31	世帯数	6	131	77	26	8	9	1	2	2	262
	人数	6	148	129	48	12	10	2	2	2	359
R2	世帯数	6	137	67	31	21	11	5	0	1	279
	人数	6	153	126	54	28	13	8	0	1	389
R3	世帯数	9	159	84	39	15	13	3	1	0	323
	人数	9	176	173	62	17	19	5	1	0	462
合計	世帯数	44	1,178	760	293	172	175	38	4	4	2,668
	人数	48	1,448	1,552	575	280	303	64	4	4	4,278

世帯割合 1.6% 44.2% 28.5% 11.0% 6.4% 6.6% 1.4% 0.1% 0.1%



令和3年度鳥取県への移住者数について

○令和3年度の本県への年間移住者は1,665世帯2,368人(前年度比+232人)となり、過去最多であった令和元年度の移住者数2,169人を大幅に上回りました。

○新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和3年度上半期の移住者数は近年同水準の919人となりましたが、下半期は緊急事態宣言の解除等により、都道府県をまたいだ移動制限が緩和され、近畿・中国地方等からの本県への移住者の増加等によって、下半期として過去最高の1,449人となりました。

○新型コロナウイルス感染症の影響により、都市圏への一極集中がもたらすリスクが顕在化したことから、地方での暮らしや新たなライフスタイルに関心が高まっています。第2期総合戦略の目標12,500人(令和2～6年度の5年間)に向けて、移住定住施策を進めていきます。

1 移住者数の推移

年度	上半期移住者数	下半期移住者数	年間移住者数	目標	累計
平成27年度	909人	1,043人	1,952人	8,000人 (H27～R1)	1,952人
平成28年度	916人	1,106人	2,022人		3,974人
平成29年度	933人	1,194人	2,127人		6,101人
平成30年度	954人	1,203人	2,157人		8,258人
令和元年度	984人	1,185人	2,169人		10,427人
令和2年度	856人	1,280人	2,136人 (1,548世帯)	12,500人 (R2～R6)	2,136人
令和3年度	919人	1,449人	2,368人 (1,665世帯)		4,504人

2 市町村別移住者数

市町村名	移住者数	市町村名	移住者数	市町村名	移住者数	市町村名	移住者数
鳥取市	473 (395)	岩桜町	10 (28)	琴浦町	151 (114)	伯耆町	57 (42)
米子市	591 (463)	智頭町	28 (25)	北栄町	105 (80)	日南町	17 (50)
倉吉市	261 (284)	八頭町	51 (56)	日吉津村	38 (27)	日野町	33 (16)
境港市	224 (203)	三朝町	33 (22)	大山町	6 (23)	江府町	11 (4)
岩美町	85 (74)	湯梨浜町	105 (135)	南部町	89 (95)	合計	2,368 (2136)

※括弧内の数字は令和2年度の移住者数

【参考】

移住世帯の状況

- ・移住理由について、40代以下は就職が中心で、「結婚・子育て」の増加も目立つ。
- ・50代以上になると、退職等による帰郷、田舎暮らし志向が目立つ。
- ・Uターン別にみると、ほぼ均衡している。
- ・近畿地方、中国地方、関東地方からの移住者の増加が目立つ。

区分 年度	年代×理由(%)				U・Iターン(%)		地域(世帯数)		
	40代以下		50代以上		Uターン	Iターン	関東地方	近畿地方	中国地方
	就職	結婚・子育て	帰郷	田舎暮らし					
R1	44.6	16.5	24.3	15.5	51.2	48.8	290	521	453
R2	44.1	15.9	21.4	23.3	51.3	48.7	333	484	440
R3	50.4	16.6	25.5	19.4	47.8	52.2	338	538	474

○年代別

年代別にみると、30代以下の世帯が多い。

年代	世帯数	構成比	年代	世帯数	構成比
20代以下	696世帯	45.7%	50代	110世帯	7.2%
30代	342世帯	22.4%	60代	103世帯	6.8%
40代	198世帯	13.0%	70代以上	75世帯	4.9%
計			1524世帯※年代が不明な者(141世帯)を除く。		

○理由別 ・理由別にみると、40代以下は、就職が中心。「結婚や子育て」も目立つ。

・50代以上になると、退職等による帰郷、田舎暮らし志向の増加が目立つ。

	全体		～20代		30代		40代		50代		60代		70代～	
	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比
農林水産業	17	1.3%	11	1.9%	4	1.4%	2	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
企業等への就職	603	46.5%	290	50.3%	73	24.7%	41	24.1%	20	21.3%	10	11.0%	3	4.3%
起業	11	0.8%	3	0.5%	3	1.0%	2	1.2%	2	2.1%	1	1.1%	0	0.0%
結婚・子育て	155	12.0%	64	11.1%	57	19.3%	27	15.9%	3	3.2%	1	1.1%	3	4.3%
介護	40	3.1%	1	0.2%	2	0.7%	7	4.1%	10	10.6%	10	11.0%	10	14.3%
田舎暮らしを志向	122	9.4%	14	2.4%	29	9.8%	22	12.9%	15	16.0%	22	24.2%	20	28.6%
退職・卒業等による帰郷	214	16.5%	103	17.9%	36	12.2%	12	7.1%	13	13.8%	33	36.3%	17	24.3%
その他	135	10.4%	91	15.8%	91	30.8%	57	33.5%	31	33.0%	14	15.4%	17	24.3%
計	1297	100%	577	100%	295	100%	170	100%	94	100%	91	100%	70	100%

※移住理由が不明な世帯があることから、合計は移住世帯の全体数とは一致しない。

※鳥取県HPより引用